

自社をより良くしたいと感じた皆さまへ

# Social Shift

# 虎の巻

第1版：最終更新日2012年11月7日

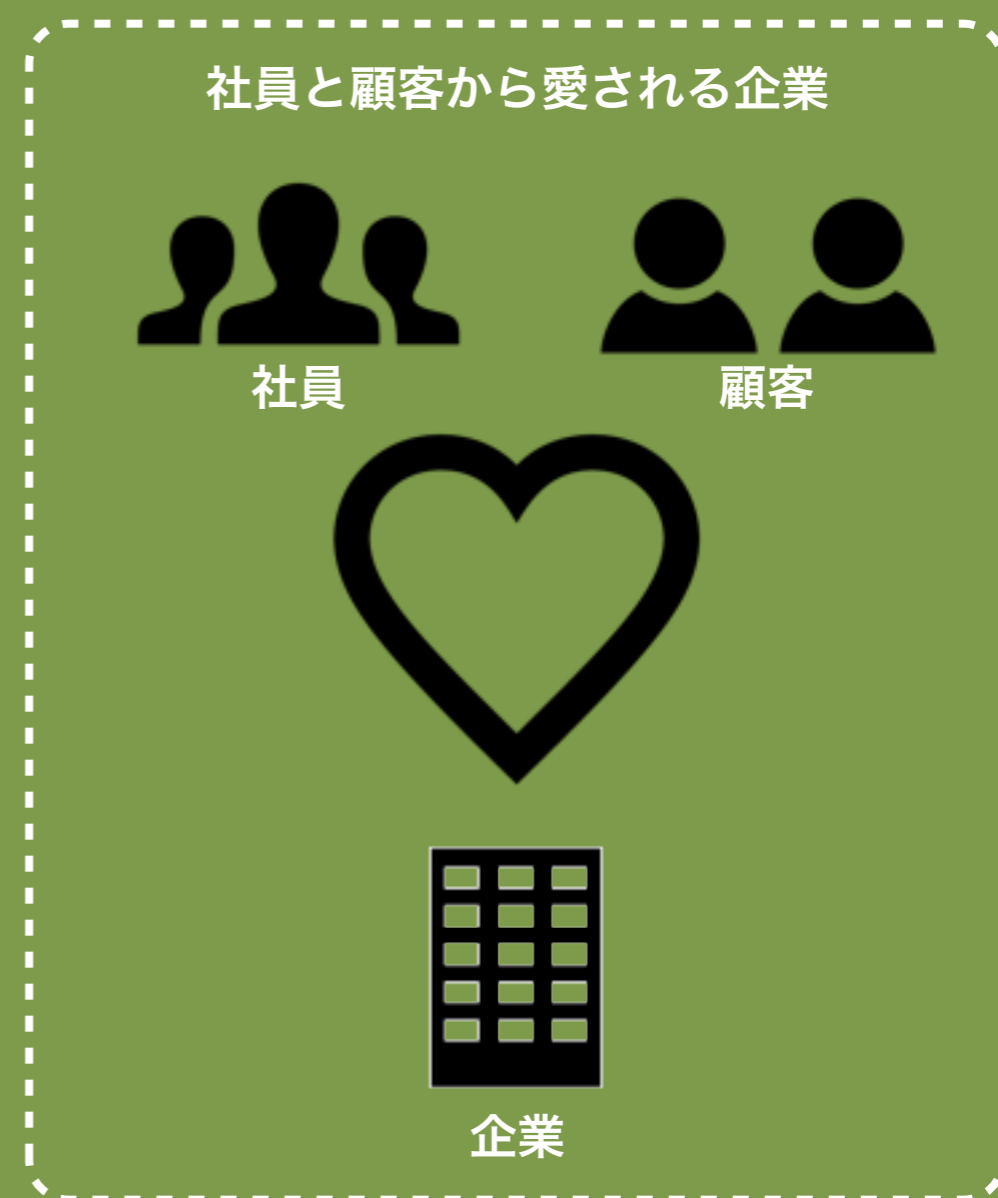
株式会社ループス・コミュニケーションズ

# 1. あなたができることからはじめてみましょう

あなたの会社は社員と顧客から愛されているでしょうか？

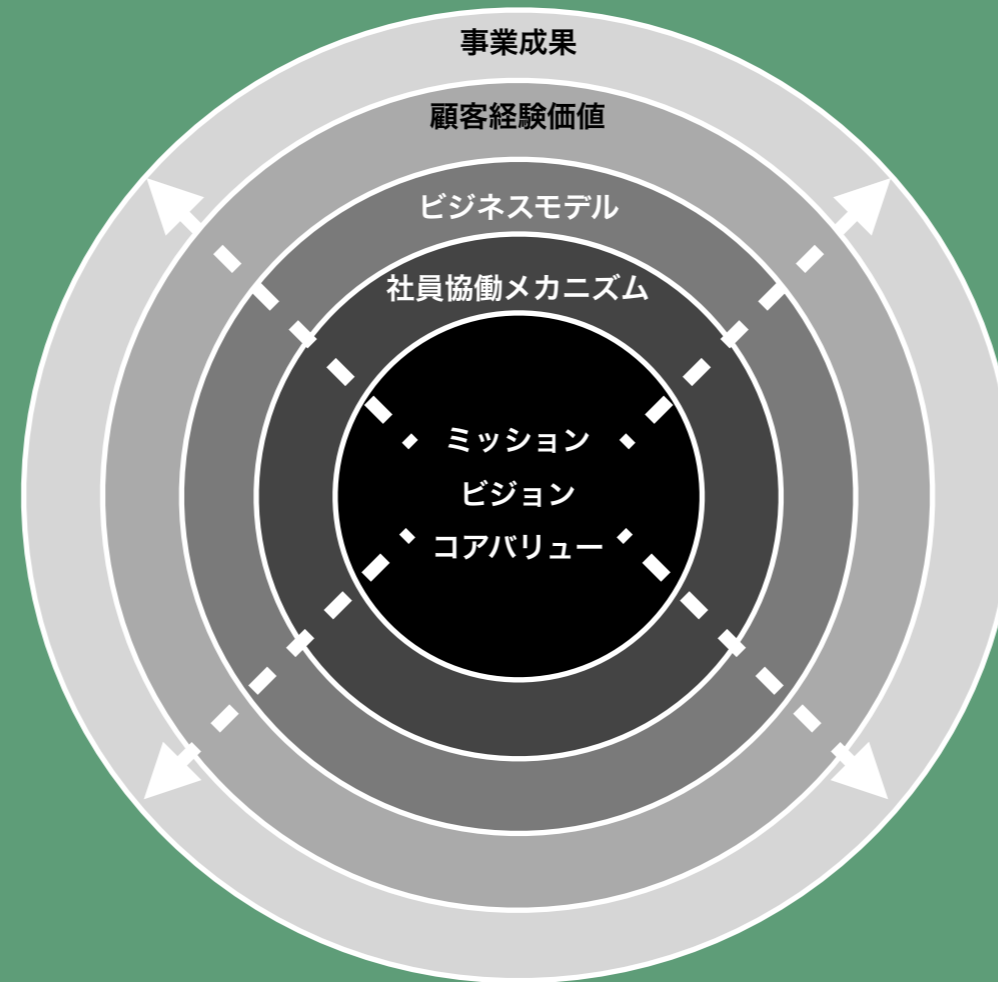
あなたご自身は会社をより良くしたいと思っているでしょうか？

社員と顧客に愛される企業になるために自分には何ができるか、考えはじめませんか？



## 2. 会社を本質的に変革するにはインサイドアウトから

永続的な変革はインサイドアウトからしか生まれません。まずは、あなたご自身が中心となって、あなたの会社の「あるべき姿」を考えることから始めてみてはいかがでしょうか。



内面（インサイド）から変える。企業自身の根本的なパラダイムや動機、社風などを変えることから始める。自身を改善せずに他者との関係を改善することはできない。外側（アウトサイド）からもたらされた永続的な問題解決や幸福、成功はないのだ。

### 3. ミッション、ビジョン、コアバリューを考えましょう

内面から会社を変えるための第一歩は、ミッション、ビジョン、コアバリューを考えることから。大きな組織の場合は「ブランド」「事業部」「プロジェクト」「チーム」のように、対象を小さくして考えてみましょう。はじめに、(1) ミッション～自社が何のために存在しているのか、続いて、(2) コアバリュー～お客様に提供する中核的な価値は何か、最後に、(3) ビジョン～将来、何を目指していくのか、というステップがおすすめです。

Why	What	How
ミッション	ビジョン	コアバリュー
持続可能な存在意義	未来へ導く羅針盤	組織としての共有価値観
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 何によって世界をより良くするか？</li><li>・ 持続可能な使命か？</li><li>・ 事業に独創性があるか？</li><li>・ 社会のどんな課題や需要に対して、持続的に、どんな価値を創造するか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ どんな会社、組織になりたいか？</li><li>・ 独りよがりではなく、三方よしか？</li><li>・ 社員が実現可能性を感じる未来像か？</li><li>・ 社員が夢を感じ、ともに歩みたいと心から願う未来像になっているか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 使命遂行にあたっての独自の価値は？</li><li>・ 社員の行動を導く内容か？</li><li>・ 社員を幸せにするか？</li><li>・ 社員の創造性や協働を促進し、独自の価値創造に繋がる必要十分な内容か？</li></ul>

## 4. 社内勉強会を開催することも一つの方法です

ミッション、ビジョン、コアバリューを検討するために、あなたがリードして、あなたと同じように会社をよくしたいと思っている同志を増やしましょう。あなたの考えに共感してくれる仲間を集めて、自社のあるべき姿を検討する社内勉強会を開催するのも一案です。リアルな集まりとFacebookでの交流の中で、ワークショップ形式で意見を出し合ってみては？

### 共感しあう仲間との社内勉強会



自社のあるべき姿を仲間と一緒に  
考えてみましょう！



会社を変えたい  
という強い思い

共感



あなたの思いは、  
きっと仲間に伝わります



## 5. 社内勉強会は継続することで効果がアップします

社内勉強会を開催することで、会社のあるべき姿が少しずつ見えてきます。そして、あなたの考えに共感してくれる仲間がいることにも気がつきます。この社内勉強会は、継続することで効果を発揮します。読書会や情報共有からスタートし、現実の顧客の自社に対する声に耳を傾ける。さらに「あるべき姿」を共創し、組織改革の試案としてまとめてゆきます。

### 読書会



各自が参考資料を持ち寄り、お互いの見識を高めながら自社への応用を考えます。

### 顧客の声への傾聴



営業やCS部門、ウェブ上のお客様の声に耳を傾け、改善案を検討します。

### あるべき姿の共有



ミッション、ビジョン、コアバリューの検討を通じて、会社のあるべき姿を共有します。

### 勉強会のまとめ



最終的には「自社のソーシャルシフト試案」というカタチで勉強会の成果をまとめます。

継続は力なり！

## 6. 社内勉強会の成果を会社のトップへプレゼンしてみましょう

社内勉強会を継続することで、社内にチームワークが生まれてきます。そして「自分の会社も変わることができそうだ！」という手応えを共有できるでしょう。ソーシャルシフトは現場とトップが力をあわせて推進していることが大切です。社内勉強会の最終ステップは、現場の改革案を経営トップに伝えることです。志をともにする仲間と一緒に、社内勉強会の成果を会社のトップにプレゼンテーションしてみたいはいかがでしょうか。

### 志をともにする仲間



### 志をともにする仲間+管理職



### 経営トップへのプレゼン



## 最後に、進め方で悩んだときはお気軽にご連絡下さい

一人だと社内勉強会を上手く進めることができない、上司に社内勉強会の開催について上手く説明することができない、トップにソーシャルメディアの理解がないなど、社内勉強会の進め方でお悩みの際には、お気軽にご連絡下さい。無料ご相談はもちろん、有料の社内講演やワークショップなど豊富なメニューをご用意しております。

お問い合わせ先

[socialshift@loops.net](mailto:socialshift@loops.net)

担当者：伊藤靖

「自らの果たすべき貢献は何かという問いからスタートするとき、人は自由となる。  
責任をもつがゆえに、自由となる」

～ピーター・ドラッカー～